Environmental & Social Report 2019

アマノ 環境・社会報告書 2019





アマノは、1931年創業以来、「人と時間」「人と環境」を企業テーマに掲げ、

全事業活動の座標軸を顧客満足度におき、全ての社員がお客様の声を聞く

「顧客第一主義」を基本方針として事業に取り組んできました。

企業を取り巻く経済環境や労働環境は、予想を上回るスピードで変化し、

ビジネス構造や社会環境をも大きく変革しています。

あらゆる局面で構造改革が迫られている今、アマノは、

グローバルな視点で新たな価値を創造し続ける企業グループを目指しています。

- 1 創業以来、築き上げてきた顧客基盤に、新しいサービスやソリューションの提供を通じて、 さらなる満足と付加価値を提供し続けます。
- アマノを中核に国内外グループ会社の連携を強化し、グローバルに成長し続けます。「人材=人財」という思想に基づき、「企業の未来は人なり」という考え方から、 様々な人事・教育施策を絡めることで、次世代リーダーの育成に取り組んでいきます。
- 3 新しいことへのチャレンジとして、新規事業・新商品開発・新技術開発など、 継続的な積極投資により、更なる成長を目指していきます。
- 4 「変わり続ける」ことを伝統に、時代の変化に迅速に対応できる 積極的な事業活動を展開し続けます。

このような活動を基本として社会に貢献し、お客様にとっても、社員一人一人にとっても魅力ある 企業であり続けるために、変革の流れを感じ、自らも変わり続けることのできる人、自ら考え行動 できる人、新しいことにチャレンジできる人、活気・活力のある人間集団を目指しています。

【本報告書〈環境編〉の対象範囲】本社及び相模原事業所、細江事業所の2事業所部門(生産拠点)と全国支店・営業所を主なサイト活動単位としています。本社と隣接するアマノギャラクシービル (開発の一部が所属) 及びアマノグループ会社のうち本社敷地内の (株) アマノエージェンシーは本社サイトとして、本報告書の対象に含めます。

但し、改正省エネ法に伴うエネルギー使用量の集計においては、各グループ会社は独立法人ですので、アマノ(株)の集計とは分けています。 【本報告書〈環境編〉の対象期間】本報告書〈環境編〉の対象期間は、2018年4月1日から2019年3月31日です。

但し、決算期末(年度)をまたいで継続している環境保全活動等の一部環境報告事象の記述及び《会社概要》《社会編》については、本報告書原稿 入稿時(2019年9月)までの情報も含みます。

- ■本報告書は、環境省発行の「環境報告ガイドライン(2018年版)」を参考に作成していますが、全てを網羅していません。 また、環境パフォーマンスデータのエネルギー及び排出CO₂の算出には「改正省エネ法の第4条関係(別表第1, 第3)及び「燃料法のCO₂排出算定式」の換算係数を参考にしています。
- ■昨年発行の報告書に対して、一部過去の環境データを見直し修正しています。



「人と時間 | 「人と環境 | をテーマに、 広い視野をもって常に環境保全に配慮した 事業活動及び環境経営を推進します。

私たちアマノグループは、「人と時間 | 「人と環境 | の分野で、新しい価値を創造 し、安心・快適で健全な社会の実現に貢献することを経営理念としています。

この経営理念のもと、経営環境の変化に対応した最適なガバナンス体制を機軸 に、既存事業の拡大に加え、中長期・グローバルな視点での新しい事業・市場を創 出して持続成長を実現することにより、企業価値の最大化を図ります。また、事業活 動を通じて確保した適正な利益を継続的に還元して、「顧客、取引先、株主、社員、 地域社会 | の全てのステークホルダーに信頼され評価される企業を目指してまいり ます。

国際社会においては、2030年に向け共通の目標として、地球規模の社会課題 解決を目指す国際的な枠組み「持続可能な開発目標(SDGs)」が国連総会で採 択されました。2019年に入り、国内外におけるSDGsの動向は活発化しており、日 本においても国、行政、事業者が17の目標達成に貢献するためにさまざまな取り 組みを進めています。

その中でアマノグループは、環境と経済のバランスのとれた、持続可能な社会 の構築に貢献する事が社会的責務であるとの認識に立ち、常に環境保全に配慮 した環境経営を推進しています。

すなわち「環境理念」を共有し、「環境方針」に基づいた行動の実践により、アマノ グループが提供する製品、ソリューション、サービス、それを生み出す製造から販 売まですべての事業活動におけるシーンでCO2や廃棄物削減など環境負荷軽 減への取組みを徹底するとともに、地域社会の環境保全活動の強化、環境管理 体制の充実に努めています。

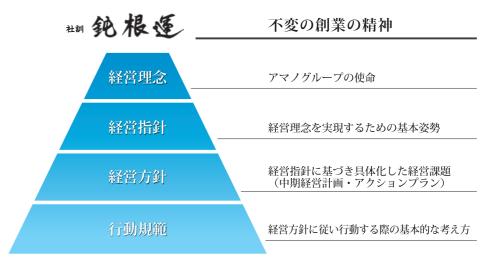
これらの活動は、SDGsの目標やターゲットと共通するものと考えています。

アマノグループは、これからも地域社会と密接に連携・協調を図りながら行動する とともに、グローバル企業として、継続した地球環境保全活動に取組んでまいります。



企業ビジョン

基本理念体系



とは、正しい行為をいいます。愚鈍の鈍ではなく、 **全古** 正直、明朗、人格尊重、人の和、奉仕の気持ちと

社訓 鈍根運

とは、たゆみない努力をいいます。仕事に対して 大良 愛情をもつとか、研究向上心をもつということに も通じます。

とは、めぐまれる幸運をいいます。「鈍|「根|をよ く実行したときに「運」は開け、ゆたかな心、ゆた かな生活がみのります。「運」は寝て待てというこ とではありません。

経営理念

「人と時間 | 「人と環境 | の分野で 新しい価値を創造し、 安心・快適で健全な社会の実現に貢献します。 コーポレー ガバナンス

中長期的な企業価値向上を図るため、経営環境の 変化に対応した最適なガバナンス体制を基軸に、 迅速・果断な意思決定を行います。

持続成長

企業価値向上

既存事業の<mark>拡大に加え、中長期・</mark>グローバル な視点で新しい事業・市場・価値を創出し、 持続成長を目指します。

利益還元

事業活動により適正な利益を確保し、 ステークホルダーに継続還元して、企業の 信頼の獲得と良好な関係の維持に努めます。

アマノの事業展開

国産初のタイムレコーダーを送り出して以来、常に開発型企業として継続し、全事業部門が顧客密着型の営業活動を通じ、 環境の変化にスピーディーかつ柔軟に対応する積極的な事業展開を続けています。

Time & Ecology

Time & Ecology



情報システム・時間管理機器

働く人の情報管理や勤務時間の集計、給与計算、届出ワークフ ローなど様々な情報を効率的に処理する人事労務システム。出 退勤の時刻を記録するタイムレコーダー。伝票や書類に正確な 日時を記録するタイムスタンプなど、オフィスやビジネスにお ける多くのシーンでアマノの情報システム・時間管理商品が活 躍しています。

パーキングシステム

ショッピングセンターや病院などさまざまな施設の駐車場で お馴染みのゲート式精算システム。コインパーキングで活躍 するフラップ式精算システム。駅前の駐輪場では駐輪場シス テムなど、街中のいたるところで、アマノパーキング製品が活 躍しています。アマノは車と人の快適な社会の実現に貢献し ていきます。

会社概要

名 アマノ株式会社 AMANO Corporation 本 社 所 在 地 神奈川県横浜市港北区大豆戸町275番地

電話:045(401)1441(代表) FAX:045(439)1120

業 1931年(昭和6年)11月3日 設 立 1945年(昭和20年)11月22日

者 代表取締役社長 津田 博之

金 182億3,958万円(2019年3月末現在) 高 連結131,713百万円(2019年3月期末) 単独74,796百万円(2019年3月期末)

経 常 利 益 連結16,090百万円(2019年3月期末) 単独13,210百万円(2019年3月期末)

国内事業所 (生産拠点)

相模原事業所 · 細江事業所

従業員数連結5,223名、単独2,122名(2019年3月末現在)

決 算 期 3月(年1回)

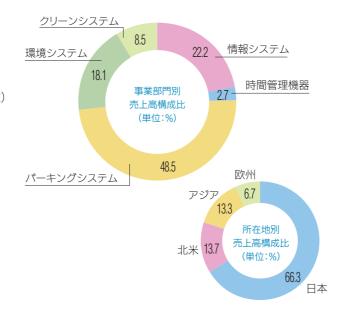
主要事業企画・設計・製造・販売・施工・メンテナンス

- 情報システム事業・時間管理機器事業
- パーキングシステム事業
- 環境システム事業
- クリーンシステム事業
- ・アウトソーシング事業
- ・時刻配信・認証サービス事業

連結子会社 27社(国内・海外の製造・販売会社)

非連結子会社 3社 関連会社 1社 アマノグループは、アマノ株式会社及びグループ関係会社(31 社)で構成し、情報システム・時間管理機器、パーキングシステ ム、環境システム、クリーンシステムを展開しています。 〈事業部門別〉および〈所在地別〉の売上高構成比率は、下記 円グラフの通りです。

■ 2019年3月期(第103期)連結



環境システム

精密機器や電子部品の製造、食品加工、様々な現場で発生する 粉塵をしっかり捕集する集塵装置。溶接やレーザー加工で発生 する煙や悪臭を捕集するヒュームコレクター。機械加工作業や噴 霧作業で発生する油性・水溶性のミストを効率よく捕集するミス トコレクターなど、職場環境改善、省エネ、低コスト設備の実現に 貢献しています。

クリーンシステム

清掃作業の品質向上や業務の効率化、人手不足対策に貢献す る清掃ロボット。駅や商業施設や工場の床を清潔に保つ自動 床面洗浄機。ホテルやオフィスなどのカーペットの汚れをとる カーペット清掃機。屋内外の路面を効率よく清掃する路面清掃 機など、「掃く」「洗う」「磨く」で身近な環境の美化と清潔維持に 役立っています。

■ 業績の推移(連結)



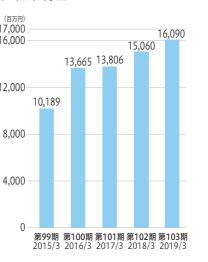


● 経常利益

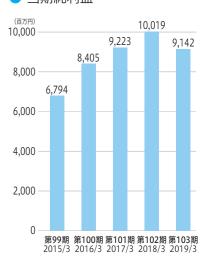
17,000

16,000

12,000



● 当期純利益



行動規範・コンプライアンス

|アマノ行動規範の制定

アマノグループでは、2014年4月に『アマノグループ社員 行動規範』を制定しました。

この行動規範は、これまでのアマノグループの長い歴史の中で培われてきた企業文化や良い伝統のうち、特に大切にしていきたい項目を12の行動規範にまとめています。左側の6項目が「基本的な心構えに関する規範」、右側の6項目が「仕事を進める上での規範」という構成となっており、社員一人ひとりにとって様々な判断や行動の指針となります。

グループ全体でこの行動規範の理解を深め、行動規 範に沿った判断や行動が実践できるよう、様々な取 り組みを行っています。

■ ホームページの掲示

アマノオフィシャルホームページ上でも基本理念体 系図や社訓、企業理念等とともに、行動規範を確認す ることができます。

https://www.amano.co.jp/corp/philosophy.html

| コンプライアンス

アマノグループでは、「コンプライアンス基本方針」、「コンプライアンス規程」を制定し、コンプライアンス意識の浸透と徹底に向けて、様々な活動に取り組んでいます。

■ アマノグループ企業倫理綱領

2015年6月に『アマノグループ企業倫理綱領』(冊子)の改定版を社員一人ひとりに配付して、内部統制基本方針、企業倫理規範等の理解や企業行動基準の遵守徹底に努めています。

■ コンプライアンス研修の実施

知っておくべき各種法令関係情報を全従業員に周知し、定期的なコンプライアンス研修 (e-leraning) を実施しています。実際の場面に即した具体的な設問により、コンプライアンスへの理解を深めています。

■ 内部通報制度の運用

アマノグループ全従業員から内部通報・相談を受付ける制度として、「アマノグループ・ホットライン規程」を定め、「企業倫理ホットライン」「人事ホットライン」「アマノ社外ホットライン」の3つのホットライン窓口を設置し運用しています。

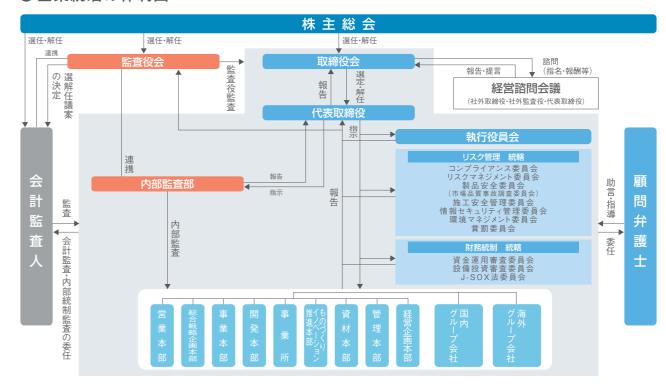


コーポレート・ガバナンス

| コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

アマノグループは、企業倫理の重要性と経営の健全性を経営上重要な課題として位置づけています。これらを実現・推進するための組織、運営体制の確立により、一層信頼される企業を目指すべく、事業活動の推進や業務執行における法令遵守はもとより、企業倫理に基づく行動を徹底してきました。これらにより、コーポレート・ガバナンスの実効性を確保し、公正で透明度の高い経営を実現しています。

●企業統治の体制図



|企業統治の体制

取締役会は、非常勤の社外取締役3名を含む9名で構成され、定例取締役会のほか、必要に応じて機動的に臨時取締役会を開催し、経営に関する重要事項を審議・決定するとともに、業務の執行状況も報告され、迅速に経営判断できる体制となっております。社外取締役については、コーポレート・ガバナンス強化の観点から、2013年6月27日開催の第97回定時株主総会にて1名選任し、2015年6月26日開催の第99回定時株主総会にて1名増員、2019年6月27日開催の第103回定時株主総会にて1名増員し、現在取締役の3分の1を占めております。なお、当社の取締役は10名以内とする旨を定款で定めております。

また、経営と業務執行に関する機能と責任を明確化し、意思決定の迅速化と経営の効率化を図ることを目的に、2005年4月より執行役員制度を導入しております。なお、執行役員18名のうち4名は取締役を兼務しております。

監査役会は、非常勤の社外監査役2名を含む4名で構成されております。常勤監査役は取締役会に出席するほか、社内の各種委員会や会議にも積極的に参加し、取締役の業務執行を監視するとともに、内部監査部と連携を図り業務執行の監視強化に努めております。

また、コーポレート・ガバナンスのさらなる強化を図るべく、取締役会の機能の独立性・透明性と更なる説明責任の強化を目的として、社外取締役、社外監査役及び代表取締役からなる「経営諮問会議」を設置しております。当会議では、社外取締役及び社外監査役の独立的な観点、幅広い経験及び専門的な知識に基づく見地から、役員の指名・解任、報酬及び後継者育成計画等に関する事項など重要な事項について審議を行います。

その他、グループ各社については、国内は「国内グループ会社戦略会議 (Domestic Strategy Conference)」を、海外は「海外グループ会社戦略会議 (Global Strategy Conference)」を必要に応じて開催し、各社の経営状況を把握する等経営監視機能を高め、グループー体となった企業倫理の浸透、ガバナンスの強化を図っております。

品質 · 顧客満足

|アマノの品質活動(品質マネジメントシステム)

高品質で安全・安心の製品・システム・サービスをお客様にご提供することは、メーカーの社会的責務です。

アマノは"顧客満足の最大化"を維持するために、本社(パーキングシステム機器の設計・開発及び製造)が1997年11月に、相模原 事業所 (時間管理機器・情報システム機器・パーキングシステム機器の製造) が翌1998年1月に、細江事業所 (環境システム機器・ク リーンシステム機器の設計及び製造)が1999年3月に、品質マネジメントシステムの国際標準『ISO9001』の認証を取得しました。 2014年4月の事業所統合により、相模原事業所・本社で『ISO9001』の認証を更新しています。2017年7月には相模原事業所・本 社が「駐車場管理機器の設計・開発及び製造」「タイム情報機器、タイムレコーダーの設計・開発及び製造」で、細江事業所が「集塵装 置、粉粒体輸送装置及び清掃機器の設計及び製造」でISO9001:2015への更新を行っています。

各事業所は、『ISO9001』品質マネジメントシステムのPDCAサイクルを適正に維持し、継続的な改善を実施し、常にお客様に最高・ 最良の製品・サービスをご提供できるように努めています。

■ 各事業所の認証取得情報

事業所	対象規格	認証機関	審査登録番号	初回登録日	更新日	有効期限
相模原事業所•本社	ISO9001:2015	SGS	JP98/011884	1998/01/08	2017/07/03	2020/07/03
細江事業所	ISO9001:2015	SGS	JP99/015829	1999/03/25	2017/07/05	2020/07/05

▲生産マイスター検定

生産マイスター検定とは、ものづくりに関わる管理者、第一線監督者、グルー プリーダー、生産ライン担当者の方々が、役割・品質・コスト・納期・安全・環境 (R・Q・C・D・S・E)の知識・能力をどの程度有しているか、またそれぞれ の階層に応じて、生産マネジメント知識・能力、生産革新への役割をどの程度 有しているかを判断し、認定、証明するものです。

アマノでは更なる品質の向上を目指し、生産マイスター検定(旧称:生産能率 士)の資格取得を推進しています。



生産マイスターオリジナルワッペン スキルの見える化及び取得意欲の向上を目的とし、アマノオリジナル生産 マイスター刺繍ワッペンを有資格者に配布し、着用しています。

一改善提案活動

製造現場で、製造効率・品質向上につながる意見を誰でも提案できる活動を全事業所で展開しています。 また、「ヒヤリハット」「なぜなぜ分析」等、不良、不具合が発生した場合に真の原因を見つけ、有効的な再発防止対策を図っています。

┃サポート・サービス体制

「製品・システムの導入からアフターメンテナンスまで、メーカーが責任をもってサービスを行う」これがアマノの基本姿勢です。 全事業活動の座標軸を顧客満足度におき、お客様の声に耳を傾ける「顧客第一主義」を基本方針として、市場のニーズに合致した 品質とコストを追及した製品・ソリューション・サービスの提供と充実したアフターサポート体制で活動します。

| 全国に広がるサービスネットワーク

アマノは北海道から沖縄まで、支店・営業所、駐在所・営業部 (72店)、システムセンター (23店)と営業・サービス拠点を全国に設置し、 全国くまなくフォローする拠点ネットワークを構築しています。

さらに、最先端研究開発から様々なサービス業務まで、国内グループ企業7社と共に、お客様に変わらぬ信頼と満足を提供し続けてまいり ます。

従業員との関わり

| 企業姿勢

今までもこれからも『人』とともに歩み、『人』を育む会社でありたい。

アマノの社章である三角マークは、ピンと張りつめた3つの弓形が三角形を構成し、社名である AMANOの"A"を造形化しています。"A" はアルファベットの第1文字目、最高点を意味し、アマノ のコンセプトである"フロンティア精神" "No.1の思想" "叡智と創造"を目指す事を意味していま す。アマノの事業領域である「時間」「環境」の分野で常に挑戦を続け、マーケット志向と先進技 術で世界に向かい躍進しようという企業姿勢を表しています。さらには、人材は人"財"であると いう考えのもと、3つの弓形のエレメントが三位一体となって"人"の文字を中心に形成し人間重 視の思想も表しています。弓形のエレメントそれぞれが意味しているようにアマノには"人を育 てる環境"と"能力を発揮できる自由な風土"が整っています。また、その土台には"人と人とが支 え・競い合い無限の可能性に向かい自助努力する精神"があり、まさに『人』を中心とした企業風 十が整っています。



【求める人材

私たちは自身の企業活動によって企業を支える全ての人々や社会が共に繁栄し、 喜びを分かち合える、そんな魅力ある企業であり続けたいと願っています。

アマノはお客様にとっても、社員一人一人にとっても魅力ある企業であり続けるために、時代 の変革の流れを感じ、自らも変わり続けることのできる人、自ら考え行動できる人、新しいこ とにチャレンジできる人とともに、活気と活力に満ち溢れた人間集団を目指しています。

CHALLENGE 挑戦する心

現状に満足し立ち止まることなく、常に挑戦する気持ちを持っている人

GLOBAL 未知なる未来を創造する力

物事を幅広い視点で捉え、グローバルな発想・行動を展開することができる人

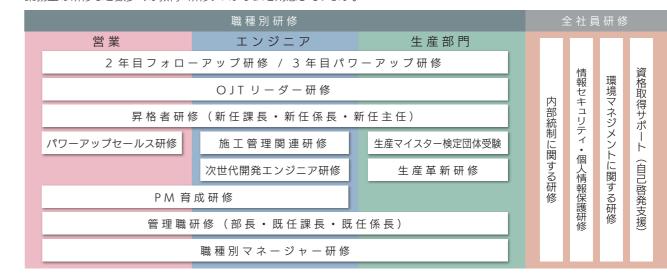
VITALITY 活き活きした活動

自ら考え、進んで行動することのできる活力と活気に満ちた人

AMANO グループ企業

|人材育成/教育研修制度

アマノは、将来にわたり成長・発展し続けていくために、社員個人の能力開発・人材育成を目的として、 業務上の研修など数多くの教育・研修プログラムを用意しています。



労働安全衛生・防災の取り組み

│労働安全衛牛

アマノで働くすべての従業員が安全・安心に、そして快適に、 気持ちよく働くことができるように、各事業所の特性に合わせ て個別に職場環境づくりを行っています。

各事業所は安全衛生委員を選任し、毎月1回、定期的に各職場 を安全パトロールすると共に、交通安全講習会や日本赤十字 社による救急法の開催、安全衛生活動などを積極的に推進し ています。また常時、職場の改善提案等を採用し、安全配慮に 努めています。『全国安全週間』の月には啓蒙活動の一環とし て、社員家族から"安全標語"や"安全ポスター・ぬりえ"を募集

し、優秀作品を社員食堂に掲 示。『全国労働衛生週間』には 講演会等を実施して一年を通 じて職場安全・衛生に対する 意識付けを行っています。



安全ポスター・ぬりえ

事業所内設備(オフィス、文書管理棚、社員食堂厨房設備、工 場内主要設備など)に対して転倒防止対策を実施しています。 特に、東海地震発生時には、大きな被害が想定される浜松市 内にある細江事業所では、『大規模地震災害対策規定』を策定 し、備蓄品をおき、万一の災害時に早期対応・早期復旧が出来 るように訓練を実施しています。

また、大地震発生時に液状廃棄物保管施設からの液体の漏え いリスクを軽減するため、各職場にある液状廃棄物の置場を 見直し、対策を強化しています。



大地震災害対策



転倒防止対策

|保安防災への取り組み

各事業所では、地震による有害物流出、設備の転倒や工場出 火などの様々な緊急事態を想定して、被災時の行動指針を制 定して、緊急事態対応訓練や従業員教育などを定期的に実施 しています。

■ 地震発生時の対応に関する行動指針

大地震に備え、『地震発生時の対応に関する行動指針』を全従 業員に掲示し、災害発生時の基本方針や行動基準を徹底してい ます。各事業所では独自に、より具体的な『防災マニュアル』を 作成し、所員全員に緊急時の行動基準を指導しています。

■ 安否確認システム

緊急時に備え、事業継続計画 (BCP) の一環として、国内グルー プ会社を含む全社員の安否を迅速・正確に確認できる安否確 認システムを導入しています。

■ 初動対応チェックリスト

大規模災害の発生時における来訪者や従業員の安全、及び会社 設備の保全に係る適切かつ迅速な初動対応のために『初動対応 チェックリスト』を作成し、実施運用をしています。

┃ 健康管理・メンタルヘルス

アマノグループでは従業員の健康管理を経営的な視点から考 え、戦略的に「健康経営」を推進していくため「健康経営宣言」 を制定した他、専任産業医と看護師が、社員の健康管理を行っ ています。

- 1. 定期健康診断、肺がん・胃がん・大腸がん検診 (30歳以上の社員には生活習慣病(メタボ)検査を導入)
- 2. 社員・被扶養者を含む健康づくりの促進 (人間ドック・レディースドック、乳がん・子宮がん検診、骨 密度測定の実施)
- 3. 定期的な保健指導、健康相談等での社員支援 (支店を含めた面接・電子メールや電話での個別相談に対応)
- 4. 事業所の電子掲示板を活用した健康情報の提供、健康教育
- 5. メンタルヘルス(心の健康管理) 保健スタッフによる"ここ ろのケア"面接の実施、電話での相談・支援、医療機関へ結 びつけ、職場復帰支援
- 6. 安全衛生委員会での安全・健康づくりの支援活動
- 7. 外部講師による講習会(健康・メンタル・栄養指導・救急法
- 8. 外部スポーツクラブと提携し、心身の健康増進を図る
- 9. インフルエンザ予防接種を希望者に実施。

|ホワイト500

アマノは、経済産業省と日本健康会議が進める健康経営優良法人認定制度において、「健康経営優良法人(大規模法人部門) 2019 に認定されました。健康経営優良法人認定制度とは、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる 大規模法人を認定する制度です。2019年2月、特に優良な健康経営のリーディングカンパニーとして、当社を含む821法人が認 定を受けました。



【関連情報】

・経済産業省 健康経営優良法人認定制度ホームページ http://www.meti.go.jp/ press/2018/02/20190221002/20190221002.html

・アマノ株式会社 健康経営宣言

http://www.amano.co.jp/corp/healthmanagement.html

健康経営宣言

アマノグループは、創業以来培ってきた「企業は人なり」という思想に基づき、従業員が 心身ともに健康であることを第一に考え、「健康経営」を実践するための諸活動を会社、 健康保険組合、従業員が一体となり、推進していきます。

従業員一人ひとりが心身ともに健康で、持てる能力を最大限発揮することにより、「人と 時間」「人と環境」の分野で新しい価値を創造し、アマノグループの持続成長を通じて、安心・ 快適で健全な社会の実現に貢献します。

▮防災訓練の実施

本社、相模原事業所は、地震発生に伴う火災を想定した防災訓練を、細江事業所では津波の発生を想定した防災訓練を実施してい ます。消火班、救護班、情報連絡班、避難誘導班など災害発生時の役割分担に基づき、避難訓練及び消火訓練などを実施しています。 相模原事業所では、2018年11月27日に消火訓練、通報訓練、避難訓練、煙体験訓練を実施しました。細江事業所では、2019年3月 4日に津波発生を想定した避難訓練を実施しました。







細江事業所 防災訓練

社会貢献活動

|スポーツ振興

■ 女子プロゴルフ・吉田弓美子選手スポンサー

アマノ本社所在地と同じ神 奈川県出身の女子プロゴル ファー吉田弓美子選手をスポ ンサーとして応援しています。 競争の激しい女子プロゴル フ界において、築き上げてき た技術、持ち前の明るさと強 い心をもってツアーに挑み 成長を続ける吉田選手の姿 勢が当社の企業姿勢に相通 ずると考え、また、地域再生 への願いも込めて支援して まいります。



■ なでしこリーグ1部 ノジマステラ相模原 の活動を応援

日本女子サッカーリーグ(な でしこリーグ) 所属の[ノジ マステラ神奈川相模原1をス ポンサーとして応援してい



ます。「ノジマステラ神奈川相模原」は、2012年に"サッカーを 通じて、人創り・街創り、日本の元気創りに貢献する"というコ ンセプトのもと発足され、2017年シーズンからは神奈川県で は唯一「なでしこリーグ]部」に参戦しています。

|こどもエコクラブ

「こどもエコクラブ」は、公益財団法人日本環境協会が、自治 体・企業・団体などから支援や協力を経て、全国の事務局から 環境活動のプログラムや場の提供をしています。「時間」と「環 境」事業テーマとするアマノでは、子供たちの環境保全活動や 環境学習を支援し、自然を大切に思う心や、環境問題解決に自 ら考え行動する力を育成し、地域の環境保全活動の環を広げ ることを目的としたこの活動に賛同し、パートナー会員として 支援してまいります。



こどもエコクラブHP画面 http://www.j-ecoclub.jp/

■ サッカークラブ「大豆戸FCIの活動を応援

アマノ本社所在地と同じく 横浜市港北区大豆戸を 拠点 とするサッカークラブ「大豆 戸FC(フットボールクラブ)」 をオフィシャルクラブパート ナーとして応援しています。 「大豆戸FC」は約400名の



→>>>Social Report

小中学生が在籍し、Jrユースチーム(U15・中学生)は2018年 度日本クラブユース選手権(U-15)神奈川大会優勝実績のあ る強豪チームです。また地域に貢献する活動にも積極的に取 り組み、子供達の成長を支援しています。

■ 相模原力ヌー協会の活動を応援

2019年6月1日より、相模 原事業所近隣の相模原市の 道志川を拠点に活動してい る「相模原力ヌー協会」を協 賛企業として応援していき



道志川では250~400mの

急流コースに設置された18~25個のゲートを決められた順 番に潜り、ゲートを通過する技術とゴールまでの所要時間を 争う[スラローム]の競技場が整備されています。

地元でのカヌー熱も徐々に高まっており、学生から社会人まで 協会メンバーが日々練習に取り組んでいます。

■ スポーツクラブ活動(ライフル射撃部)

2017年よりスポンサーとして応援してきましたアマノ本社所 在地と同じ神奈川県出身の一ノ渡桜選手を社員として採用し、

2019年4月にライフル射撃 部を設立しました。"地元選 手を世界の舞台に"を目標 に、所属選手の強化・育成と 共に、ライフル射撃競技の発 展にも取り組んで参ります。

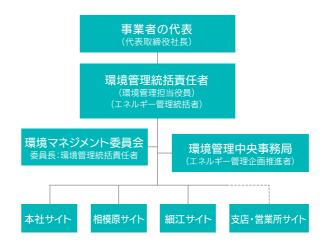


環境マネジメントシステムの取り組み

Ⅰ環境マネジメントの取り組み

アマノは、環境と経済のバランスのとれた"持続可能な社会"の 構築に貢献することが社会的責務との認識に立ち、常に環境 保全に配慮した事業活動及び環境経営を推進するため、環境 マネジメントシステムを構築し、環境問題に自らが積極的に 取り組み、全社的な環境配慮型行動を推進しています。

■ 全社 環境マネジメント推進体制



ISO14001認証取得情報

1999年8月に細江事業所が取得、2000年1月に相模原事業 所が取得しました。2007年4月には旧都田事業所及び同事 業所敷地内に所属するグループ会社:株式会社環境衛生研究 所が取得しました。2014年4月に事業所の統合を行い、細江 事業所、相模原事業所でISO14001:2004を取得しました。 2017年7月には細江事業所が「集塵装置及び清掃機器の設 計、製造及びメンテナンス」「粉粒体輸送装置の設計及び製 造」「作業環境に係る測定」で、相模原事業所が「駐車場管理 機器の製造」「タイム情報機器、タイムレコーダーの製造」で ISO14001:2015への更新を行っています。

アマノ株式会社 環境方針

環境理念

アマノ株式会社(以下、当社)は「人と時間」「人と環境」 をテーマに、環境と経済のバランスのとれた"持続可能 な社会"の構築に貢献することが社会的責務との認識 に立ち、広い視野をもって常に環境保全に配慮した事 業活動及び環境経営を推進します。

環境方針

●基本方針

当社は「環境理念」に基づき、製品の研究開発から生 産・販売及びサービスに至るまで、事業活動のあらゆる シーンで、高い環境品質の実現・維持を目指します。

●行動指針

- 1. 常に環境に配慮した事業活動を実践するための組 織及び運営体制を整え、継続的に維持・改善するア マノ環境マネジメントシステムを確立します。
- 2. 当社で働くすべての人が環境関連の法律・規制及 び社内基準を遵守します。
- 3. 生産・販売・サービスに至る事業活動全般に対し業務 効率の向上・合理化、リデュース、リユース、リサイクル 等、資源の有効活用及び環境配慮に努めます。
- 4. 環境負荷の低減を目指した製品の研究・開発・生産 に努めます。
- 5. 当社で働くすべての人に環境教育を実施し、環境 意識向上及び啓発に努めます。
- 6 この「環境方針」は当社で働くすべての人に周知徹 底すると共に要求に応じて一般にも開示します。

制定:2004年3月10日 改定:2011年4月1日

■ 各事業所の認証取得情報

事業所	対象規格	認証機関	審査登録番号	初回登録日	更新日	有効期限
相模原事業所	ISO14001:2015	SGS	JP00/017315	2000/01/24	2017/07/03	2020/07/03
細江事業所	ISO14001:2015	SGS	JP99/016547	1999/08/13	2017/07/05	2020/07/05

地球温暖化防止の取り組み





| 省エネルギー活動の推進

CO₂排出量削減に向けて各サイト毎に省エネ活動推進に取り 組んでいます。エネルギー削減には電力使用量及びガソリン燃 料の削減が最も効果的であるため、その削減に向けて各サイト が知恵を出し合って、地道な省エネ活動を展開しています。 各サイト共通の省エネ対策は以下の通りです。

- 空調コントロール (夏季28℃、冬季20℃の徹底) (COOL BIZ、WARM BIZの実施)
- 照明のLED化と節電の徹底
- 節水(水の出しっ放しの禁止、蛇口の管理)
- パソコン関連の省エネ実施(電源OFF)
- 設備機器の省エネ対策及び改造等の実施
- コピー機等の更新は省エネ複合機選定で台数削減
- 清掃業者への環境指導(ごみ分別・排水など)の実施
- 全社的なエコドライブの推進

温室効果ガス(CO2)排出量は、2006年度を基準に毎年1%削 減目標で省エネ活動を実施しています。 実績は以下グラフの通りです。



EHPエアコンに変更(本社)



GHPエアコンを更新(細江事業所)



遮熱フィルム(相模原事業所)



エアコンを更新 (相模原事業所)

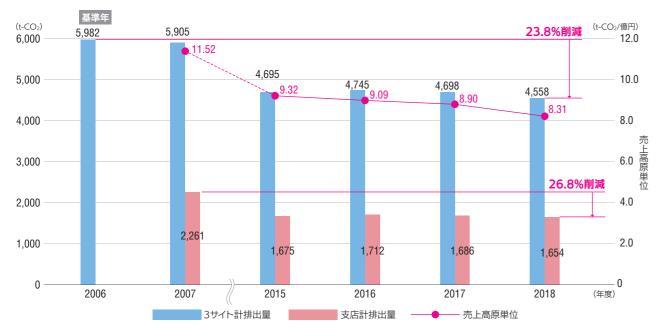






IFD灯に更新(細汀事業所)

■ CO₂排出量



※改正省エネ法に基づき、都田製造部と同じ敷地内に所在する(株)環境衛生研究所は算定から除外しています。

※公道を走る社用車の燃料(ガソリン・軽油)使用量を算定から除外しています。

※売上高原単位については、全社合計で算出しています。

■ エネルギー使用量 (電気+燃料)(原油換算)



※細江事業所には都田製造部のデータを含みます。(株)環境衛生研究所のデータは含みません。

※公道を走る社用車の燃料(ガソリン・軽油)使用量を算定から除外しています。

※売上高原単位については、全社合計で算出しています。

■ 水 使用量



※細江事業所には井戸水の使用を含みます。

※細江事業所には都田製造部のデータを含みます。(株)環境衛生研究所のデータは含みません。

※売上高原単位については、全社合計で算出しています。

廃棄物削減の取り組み

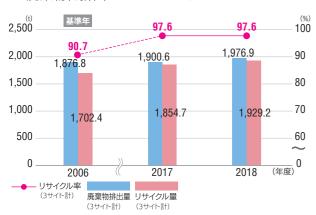


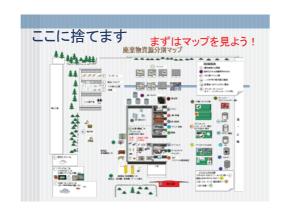


|産業廃棄物の廃棄総量削減

3サイト(本社・相模原事業所・細江事業所)の2018年度産業廃棄物総排出量は、前年度に比較して4%(76t)の増加となりま したが、生産高比でみると1.4%の削減となっています。また、分別の徹底によりリサイクル率は97.6%を保っております。引き 続き適切なゴミ分別を進め、廃棄物量排出の削減とリサイクル率の向上を目指していきます。

■ 廃棄物総排出量およびリサイクル量



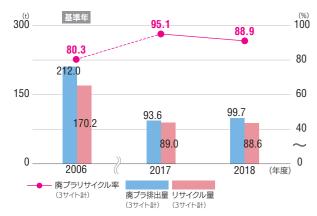


		11	
	2006年度	2017年度	2018年度
廃棄物総量(t)	1,876.8	1,900.6	1,976.9
最終処分される量(t)	174.4	45.9	47.7
再資源化(リサイクル)量(t)	1,702.4	1,854.7	1,929.2
再資源(リサイクル)率(%)	90.7	97.6	97.6

| 廃棄プラスチックのリサイクル推進

3サイト(本社・相模原事業所・細江事業所)の2018年度廃プラスチックリサイクル率の実績は、88.9%となりました。また、前年度に 比較して排出総量が約6.1t増加し、実質廃棄量は6.5tの増加となりました。廃棄量の増加については、主に設備の更新により、金属等 とプラの混載ゴミが一時的に増加したことに起因します。今後も分別意識の徹底と共に、全社員教育等によるリサイクル推進に努め ていきます。

■ 廃プラ総排出量およびリサイクル量





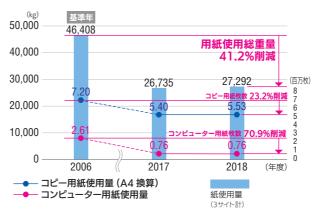
	2006年度	2017年度	2018年度
廃プラ総量(t)	212.0	93.6	99.7
廃プラ実廃棄量(t)	41.80	4.6	11.1
廃プラリサイクル量(t)	170.2	89.0	88.6
廃プラリサイクル率(%)	80.3	95.1	88.9

|コピー用紙使用量の削減

3サイト(本社・相模原事業所・細江事業所)は、コピー用紙使用量削減に向けて、両面印刷や「紙出力をせず電子化」、会議・打合せの 席での紙資料配付低減など「紙使用量を前年度実績より増加させない」などの取り組みを継続実施しています。また、従来のプリンタ ーとコピー機を省エネ型統合機(スキャナー付)へと更新を順次進めて、文書電子化による紙削減活動に努めています。

2018年度は基準年度(2006年度)に対しては用紙使用総重量で41.2%の削減となりましたが、前年度比では人員の増加や機密情報 保護の為の裏紙使用禁止などに起因して約2%の増加となりました。今後もポスター掲示等の啓蒙活動を継続して資源の有効活用に取 り組んでいきます。

■ 紙使用量 (コピー用紙+コンピューター用紙)



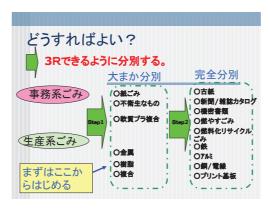


《紙の使用総	重量》	,	(単位:kg)
サイト	2006年度	2017年度	2018年度
3サイト計※	46,408	26,735	27,292

※ (株)環境衛生研究所使用分を含みません。

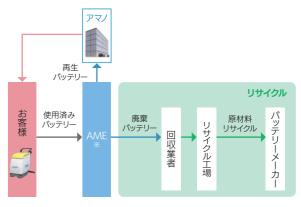
| 分別意識の啓蒙と徹底

3サイト(本社・相模原事業所・細江事業所)は、紙及び廃棄プ ラスチック類のリサイクル率向上のために、フォローアップ勉 強会や廃棄物分別パトロールなどを実施することにより、意識 の向上を図っています。また、相模原事業所では、サーマルリ サイクル化 (燃料化)している工場を実際に視察し、燃料化し ていることを確認実施しました。今後も定期的な視察を予定 しています。



| バッテリーリサイクル

2012年12月より、クリーン製品で使用済みとなったバッテ リーを回収し、全てを再利用処理(リサイクル)をする事で、循 環型社会に寄与する取組を推進しています。2018年度は129t (約4,600個)を再利用処理しました。



※AME:アマノメンテナンスエンジニアリング株式会社

有害物質管理 🔯



|製品のRoHS2対応

電気電子機器をリサイクルや処分する際に、有害物質が人や 環境に影響を与えないよう、欧州で2013年1月に施行された RoHS2指令では、特定有害物質の使用を制限しています。従 来はカドミウム・水銀・鉛・六価クロム・PBB(ポリ臭化ビフェ ニール) • PBDE (ポリ臭化ジフェニールエーテル) の6物質が指 定されていましたが、2019年7月からフタル酸エステル4物質 (DEHP(フタル酸ジ-2-エチルヘキシル)・BBP(フタル酸ブチ ルベンジル)・DBP(フタル酸ジ-n-ブチル)・DIBP(フタル酸ジ イソブチル))が追加され、現在は合計10物質が特定有害物質 に指定されています。アマノではこれに合わせて対象10物質全 廃に向けて最優先で取り組んでいます。

また、環境社内標準類として「RoHS規制管理規定」等を策定し て、生産製品のRoHS2対応進捗状況の確認を行っています。

*RoHS (Restriction of the use of certain Hazardous Substances in electrical and electronic equipment)

【RoHS2対応製品(一部)



IPRTR指定化学物質管理

PRTR (環境汚染物質排出・移動登録)制度の対象となってい る化学物質に関して、法に基づき排出する物質の種類と取扱 量を適正に把握し、毎月集計を行い自治体に報告しています。 対象物質のうち、届出・報告が必要な取扱量が1トン以上の指 定化学物質については、細江事業所でトルエン(19.9t)、キシ レン(15.6t)、エチルベンゼン(13.0t)の3物質を報告してい ます。(2018年度)

細江事業所では、VOCの削減に向けて、2018年度も2017年 度に引き続き、有機性塗料・シンナーの適正発注(リピート性 の高い特注塗料の在庫管理による流用等)及び適正使用(塗 装色変更時の回数削減、洗浄用シンナー再利用)のシステム 構築・推進を行いました。

*VOC (Volatile Organic Compounds)

■ PRTR対応物質取扱量推移

2018年度は、本社では取扱量がほぼゼロ、3サイトの合計で は、2006年度基準に対し24.6%削減しました。対象物質の代 替、部品の代替による廃止など、継続して推進しています。



		,	単位:t
サイト	2006年度	2017年度	2018年度
3サイト計※	65.71	51.03	49.50

※ 都田製造部のデータを含みます。

環境配慮型製品 🖁



アマノは、開発・改良する自社製品に対し、省エネ性、省資源(リデュース、リユース、リサイクル)、安全性、環境負荷化学物質管理など を考慮した、環境配慮化設計を推進しています。

┃自動床面洗浄機EGシリーズ

従来機種の洗浄力を維持したまま、保水性の向上を追求し、節水・省エネを実現した製品です。

水の有効利用により、洗浄力を維持しながら、節水性を高めました。

①洗浄水は床へ注水、②パッドは低速回転、③EG専用パッドの使用⇒ 無駄な水の飛散を軽減

節水性により、無補水で2時間以上稼働。洗剤と水の削減。廃液の減少により産業廃棄費用の低減が実現され、環境負荷の低減に繋 がっています。

EGrobo

2018年10月にロボット清掃機のニーズに応えるべく、ご要望の多かった 機能追加や安全性の更なる向上、より使いやすい操作性を実現した新型 ロボット床面洗浄機「EGrobo」を開発、新発売しました。

- •機能向上…洗浄幅を従来機500mmから650mmに拡大。走 行速度を2.4km/hから3.0km/hに高速化した事で清掃能力を 60%向上しました。また節水機能の付加により最大4時間の運 転が可能となります。
- •新機能…可動式レーザーレンジファインダーで取り込んだ3 次元データを活用した走行制御により、ロボットの現在位置・ 姿勢を正確にモニタリングする事で、安全走行が可能になりま した。レーザー光で周囲の認識が出来る為、暗い中でも使用で き、店舗の光熱費の節約が可能です。





|環境に配慮した梱包緩衝材の導入

製品の梱包緩衝材を、ポリエチレンから段ボールに変更する事で環境負荷の低減に努めています。

段ボールは、リサイクルシステムが確立され、高いリサイクル率で95%以上が回収されています。水だけで繊維に戻り、再生紙の原料と なる為、リサイクル工程でのCO₂排出がありません。また、原材料の90%以上が回収された使用済み段ボールであり、万が一リサイクル されずに放置された場合でも最後は土に還ります。以上の事から段ボールは環境負荷の低い梱包資材です。

■ 製品例 | 就業情報ターミナルSX-250

Before:ポリエチレン緩衝材



梱包箱サイズ26%縮小

After:段ボール緩衝材



19 | アマノ環境・社会報告書2019

グリーン調達の取り組み 🔯

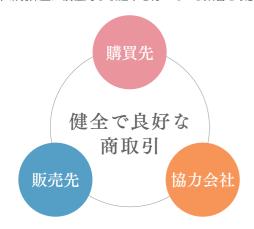


【環境に配慮した調達の推進(資材本部)

環境に配慮した高品質の製品を市場に供給するために、製品 に使用する材料・部品に関して、環境負荷の小さいものを優先 して選択し、調達活動に努めています。

環境に配慮した製品をお客様にお届けするために、以下を"調 達の基本"としています。

- (1)環境に配慮した材料・部品を購入する。
- (2)環境保全に積極的な取組みを行っている業者と取引する。



| グリーン調達の推進(グリーン調達ガイドライン)

環境マネジメントシステム『環境行動指針』のひとつとして「 グリーン調達の推進」を掲げています。

サプライチェーンでの環境負荷低減を目指し「アマノ株式会社 グリーン調達ガイドライン」を策定。このガイドラインに基づき、 取引業者に対して、納入原料・材料、部品、ユニットなどの半製 品に対しアマノ指定有害物質含有の調査等を行っています。 取引事業者に対して要求する事項は、以下の通りです。

- (1) 調達する原材料及び部品ごとに規制化学物質の含有調 査を実施する。(chemSHERPAファイルの提出)
- (2) アマノ指定製造工程使用禁止物質を製造工程で使用し ないこと。(不使用証明書の提出)



【グリーン購入・調達活動

- ■常時、仕入購入品に対する化学物質含有調査への登録推進を 実施し、環境に配慮した原材料や部品の購入への見直しを実 施しています。
- ■総務関連設備・備品類の購入は、1999年からエコマーク商 品や省工ネ機器の導入を推進しています。文具事務用品他 の購入品についてもグリーン商品に切替えを継続中です。 2018年度のグリーン購入率は46%です。(文具事務用品)



- ■廃棄後のリサイクル対応が十分に考慮された製品を選定・ 購入するようにしています。
- ■コピー・FAX複合機などのエネルギーを大量消費する電子機 器は、機能を十分に比較検討した上で省エネ効果が高くコス トパフォーマンスに優れた機種を選定し、切り替えを推進して います。
- ■使用可能な機材・備品については、極力修繕して、最終廃棄 するまでの寿命を少しでも延ばす施策を実施し、単なる更 新による廃棄を低減させています。
- ■設備更新時の資機材・設備品については、省エネ対策が施 されたもの、環境配慮されたものを導入することにしてい
- ■生産用部品の購入時、木枠・重量物パレットの返却・再利 用、梱包材のリユース、通い箱の導入など、廃棄物削減施策 を実施しています。





製品梱包の簡略化

緩衝材の再利用

- ■グリーン購入ネットワークへの加入。 2004年にグリーン購入ネット※ (GPN) に加入しました。 ※グリーン購入ネットワーク:グリーン購入を推進するために1996年に設立された全国ネット
- ■従来からの手法(紙帳票による見積り)を改善し、電子見積 書による業者見積の仕組みを推進しています。

オフィスの取り組み 🧩 📠



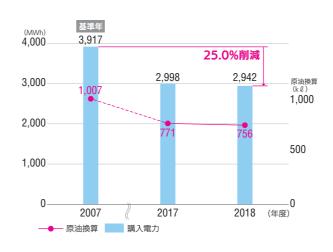


| 営業・サービス部門での省エネ活動

営業・サービス部門は、2007年度から各エリア拠点での環境負荷データ(電気・ガス・ガソリン等燃料、水道使用量ほか)の収集を始 め、数値把握を行っています。

また、支店・営業所での総エネルギー使用量に対する電気使用量の割合が、営業車の燃料使用量を除外して原油換算比で大半を占 めるため、常日頃からの節電・省エネ活動を徹底しています。

■ 購入電力 (支店合計)



■ 燃料使用量 (支店合計) ガソリン・軽油・灯油・(LP・都市)ガス



■ エネルギー使用量 (支店合計)

雷力+燃料(原油換算)



■ 水使用量 (支店合計)



| 社用車の利用についての取り組み

公道を走る社用車のガソリン・軽油については、総務部門が全社員用の掲示板に変動する給油価格を表示してコスト意識の徹底を 行っております。2018年8月から社内で保有する約700台の車両にテレマティクスシステムを導入し、急発進・急減速・速度超過等 の運転状況の見える化による、運転マナーの向上(事故の撲滅)やエコドライブの意識向上を図っています。特にエコドライブについ ては全社員教育に『エコドライブ10のすすめ』を盛り込む事による啓発活動も行っています。

※テレマティクス…車両に通信モジュールを搭載してGPSによって運転情報を収集して、管理者が使用状況を把握するシステム

生物多様性への取り組み





アマノでは、生物多様性保全を目指し取り組みを行っています。 保全活動、関係する地域社会との協調、環境技術の開発などの取り組みをこれからも継続してまいります。

┃相模原事業所での取り組み

- •津久井不法投棄撲滅キャンペーン参加
- •緑の募金活動

津久井地域の不法投棄防 止を図るため、地域住民、 事業者、関係団体及び行 政機関が一体となって、不 法投棄撲滅を地域から訴 える活動をしている「津 久井不法投棄撲滅キャン ペーン」に相模原事業所か ら有志を募って毎年積極 的参加している他、「緑の 募金活動」にも取り組んで います。



┃細江事業所での取り組み

•浜名湖クリーン作戦への参加

浜松市を代表する豊かな自然環境資源[浜名湖|を守るため に、毎年6月の第1日曜日に浜名湖岸の一斉清掃を実施してい ます。浜名湖クリーン作戦は、浜名湖周辺の自治体(浜松市・湖 西市・静岡県) や商工会、観光協会、企業等で構成する 「浜名湖 の水をきれいにする会」主催の事業です。細江事業所からも

有志を募って毎年 積極的に参加して います。



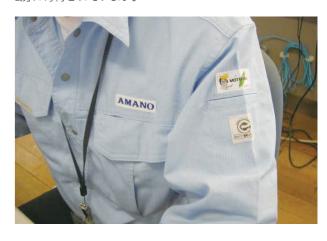
本社屋上緑化

日射を遮断し、コンクリートの蓄熱を防ぐことにより空調負荷 を低減し、省エネ実現目指すと共に、市街地での虫や鳥などの 生き物の住処や中継地となるよう、本社屋上に緑化ゾーンを 設けています。



┃環境に配慮した制服の購入

男性、女性ともに再生PET 繊維50%以上が使用されているエ コマーク付き作業服を採用。さらに作業服1枚購入すると苗木 約2本がケニア山麓周辺地域で植林を行う「グリーンベルト運 動」に寄付されています。



|沿革と主な環境活動

東京市蒲田区南六 郷2丁目21番に天 野製作所(個人経 営)を創立。



タイムレコーダー1号機

大型集塵システムの開発。 公害事業部発足。



機能水(電解水)事業に 新規参入。(エコロジー



雷解水牛成装置



津久井事業所 ISO14001-1996 認証取得(認定機関: UKAS及びJAB)

津久井事業所が神奈 川県「環境管理事業 所」に設定される。

アマノ

4月

業界初の"RoHS 環境方針を制定 指令"準拠の電子 タイムレコーダー グリーン購入 「CRX-200」を ネットワーク 発売。 (GPN)に加入。



細江事業所IS014001: 2004認証取得•更新(認定 機関:UKAS及びJAB)

厚生労働省より「快適職場推進事 業場」認定を受ける(細江事業所)

都田事業所及び(株)環境衛生研 究所、ISO14001:2004認証を 同時取得(認定機関:UKAS及び



横浜事業所で省工 ネのため、一部の空 調設備をガスヒート ポンプエアコンに変 更する。

津久井事業所に太陽光パ



細江事業所に太陽光 パネルを設置し、発

> RoHS2追加4物質の含有量 調査開始。 細江事業所及び 相模原事業所ISO14001:

2015更新

2013 2007 _{平成19年} 2010 _{平成22年} 1952

リクレス (ドレーン分離機) の開発・発売。 (環境事業スタート)

高温有害ガス除去シス テムの完成・発売開始。



浜松市都田テクノポ リスに金型製造と環 境開発の「都田テクノ 事業所」竣工。

細江事業所ISO14001-1996認証取得(認定機 関:UKAS及びJAB)

環境保全協議会「神奈川 県県央・津久井地区部会」 幹事に選任される(津久井 事業所)

津久井事業所 ISO14001:2004 認証取得•更新 (認定機関:UKAS及び JAR) 12月

アマノ環境報告書を発行 (第1回)

神奈川県県央地域 県政センターより公 害防止活動と環境保 全推進活動が評価 され表彰受賞(津久

会長賞」を受賞。

「改正省エネ法」の規定に基 づき、特定事業者に指定(特 定事業者No.0010631)さ れる。

"ゼオライト濃縮プラズマ触

媒酸化式VOC装置"が第

36回優秀環境装置表彰で

「(社)日本産業機械工業会

津久井事業所を横 浜事業所と統合し、 相模原事業所と名称 変更。都田事業所を 細汀事業所に統合。

"オイルミスト捕

集用電気集じん 装置"が第42回 優秀環境装置表 彰で「(社)日本 産業機械工業会 会長賞」を受賞。

RoHS2指令に 順次対応開始

ENVIRONMENTAL 環境報告

→>>>Environmental Report

環境目標と活動実績

達成度: ◎ 目標達成 ● 目標値以下

活動目標	2018年度各サイトの主な活動	達成度
環境マネジメントシステムの維持	ISO14001認証更新・維持審査対応(審査の更新)	0
緊急事態への対応	廃棄物保管施設の漏洩リスク軽減策の実施《細江事業所》 総合防災訓練の実施《本社・相模原事業所・細江事業所》	0
	改正省エネ法 エネルギー原単位で1%以上削減	0
	公道を除く社用車燃料(ガソリン・軽油)使用量を前年度より削減	0
温室効果ガス排出量の削減	工場使用燃料(重油・灯油)使用量を前年度より削減	0
(省エネ・節電の徹底)	水使用量の削減(前年度より削減させる)	0
	2006年度基準にCO ₂ 排出量を毎年1%削減	0
	費用をかけないさらなる省エネ施策の実施	0
	改正省エネ法対応の社内管理体制の強化	0
コンプライアンス対応強化	法定環境測定の実施(いずれも、規制値オーバーなし) ※大気への排出調査(大気汚染防止法、県条例) ※悪臭(悪臭防止法) ※水質調査(水質汚濁防止法、県条例) ※騒音/振動調査(県条例)	0
	紙の使用量削減(前年度より増加させない)	•
産業廃棄物排出量の削減と	1) 廃棄物排出総量を前年度より削減させる(目標値は各事業所で設定) 2) 廃棄物のリサイクル率を前年度より向上させる(目標値は各事業所で設定)	
リサイクル率向上	1) 廃プラ排出総量を前年度より削減させる(目標値は各事業所で設定) 2) 廃プラのリサイクル率を前年度より向上させる(目標値は各事業所で設定)	•
	分別回収徹底のための従業員教育の強化	0
有害化学物質の適正管理と使用量	PRTR指定化学物質取扱量を前年度より削減する	0
削減	鉛入り半田(半田単体)の購入量削減	0
製品環境改良の推進	製品のRoHS2指令対応の維持管理の推進	0
	開発製品の環境アセスメント評価管理の実施《本社・細江事業所》	0
環境配慮製品の拡大	欧州REACH規則高懸念物質調査の実施	0
	新製品はRoHS2対応考慮、EU対象製品はRoHS2対応設計、WEEE対応	0
	グリーン調達ガイドライン準拠部品の継続購入	0
グリーン購入/グリーン調達の推進	紙書類の電子化推進強化《本社》⇒図面・仕様書のWEB配信構築	0
	事務用品等グリーン購入の継続推進(グリーン化購入率66%以上を維持)	•
環境教育の実施	環境資格の取得推奨と全従業者への環境教育の実施	0
ソク舌酔汗動の中坎	こどもエコクラブにパートナー会員として協力	0
社会貢献活動の実施(地域環境保全団体への参加)	不法投棄撲滅キャンペーンへの継続参加及び「緑の募金」継続協力《相模原事業所》 浜名湖クリーン作戦への参加《細江事業所》	0

25 | アマノ環境・社会報告書2019

SUSTAINABLE GALS DEVELOPMENT GALS





































「SDGs(エスディージーズ)」とは、2015年9月に「国連持続可能な開発サミット」で採択された2030年までの国際社会共通目標です。「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成されています。 当社の環境活動に該当する取組みについてアイコンを表示しています。



アマノ 環境・社会報告書 2019

本 社 〒222-8558 神奈川県横浜市港北区大豆戸町275番地

TEL.045-401-1441 FAX.045-439-1120

相 模 原 事 業 所 7252-0154 神奈川県相模原市緑区長竹236番地3

TEL.042-784-7441 FAX.042-780-7107

細 江 事 業 所 〒431-1305 静岡県浜松市北区細江町気賀8123

TEL.053-522-0951 FAX.053-527-0002

●本環境・社会報告書に関するお問合せ先

環境管理中央事務局

〒222-8558 横浜市港北区大豆戸町275番地 TEL:045-401-1441 FAX:045-439-1150 E-mail: Kankyo Jimukyoku-Post@amano.co.jp https://www.amano.co.jp/

符 : 2019年12月

発 行 責 任 者:代表取締役社長 津田博之 企画編集責任者:環境管理中央事務局 秋山 吉弘 発 行 部 署:アマノ株式会社 環境管理中央事務局